授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	住居環境科 建築科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	建築計画		
授業科目	住居論	単　位	2
授業科目の目標	住居の計画手法を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 住居の基本概論	(1) 住まいの目的と形態	4 H
2. 住宅史	(1) 日本の住宅の変遷 (2) 近代日本の住居	4 H
3. 独立住宅の計画	(1) 一般計画 ① 敷地の選定 ② 配置計画 ③ 平面計画 (2) 構造計画 (3) 設備計画	8 H
4. 各部計画	(1) 個人生活の空間の計画 (2) 家族生活の空間の計画 (3) 家事・生理衛生空間の計画	10 H
5. 集合住宅の計画	(1) 一般計画 ① 棟形式 ② 住戸形式 (2) 構造計画 (3) 設備計画	10 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	視聴覚機器

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	住居環境科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	環境工学		
授業科目	環境工学Ⅱ	単　　位	2
授業科目の目標	建築内部空間における環境についての基礎知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 温熱環境	(1) 温熱環境と人体の熱平衡 (2) 室内温熱環境の測定方法	6 H
2. 断熱性能	(1) 室内気温の変化 (2) 室内外の熱移動 (3) 建築構法と断熱特性	6 H
3. 換気方式	(1) 自然換気の種類と特性 (2) 機械換気の種類と特性 (3) 換気計画 (4) 気密性能	8 H
4. 音環境	(1) 音の合成と分解、音の減衰、透過率と透過損失 (2) 吸音率と吸音力の計算、吸音機構、残響時間の計算 (3) 騒音・振動の測定法と許容値及び評価法 (4) 騒音防止計画と遮音対策、振動防止計画	8 H
5. 光環境と照度基準	(1) 視覚 (2) 照度基準 (3) 人工照明 (4) 照明計画	8 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	視聴覚機器

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	住居環境科 建築科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	建築材料		
授業科目	建築材料Ⅱ	単　位	2
授業科目の目標	建築物を構成する仕上げ材料と機能材料の種類・特性を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. 仕上げ材料（内装材・外装材）	(1) 石材 (2) ガラス (3) セラミックス (4) 石灰、石膏系材料 (5) プラスチック (6) 塗料、仕上げ塗材	18 H
2. 機能材料	(1) 防水材 (2) 接着剤 (3) 防火、耐火材 (4) 断熱材 (5) 音響材（吸音材料・遮音材料）	18 H
		合計 36 H
使用する機械器具等	視聴覚機器	

令和元年10月改訂

授 業 科 目 カ リ キ ュ ラ ム 表

課程：専門課程

科　　名	住居環境科 建築科	教科の区分	専攻学科
教 科 の 科 目	建築施工		
授　業　科　目	建築施工Ⅰ	単　位	2
授業科目の目標	建築生産プロセス及び、各種躯体工事の施工法について習得する。		

授業科目の細目	授　業　科　目　の　内　容	時　間
1. 建築生産プロセス	(1) 設計図書（共通仕様書、設計図、特記仕様書、現場説明書、質疑応答書） (2) 契約図書（請負契約書、契約見積書） (3) 施工計画（現地調査、工法計画、仮設計画、建設機械選定、工程計画、安全対策） (4) 施工管理（工程管理、安全管理） (5) 施工図	4 H
2. 躯体工事	(1) 土工事 (2) 地業・基礎工事 (3) 鉄骨工事 (4) 木工事	32 H
		合計 36 H
使用する機械器具等	視聴覚機器	

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	住居環境科 建築科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	建築施工		
授業科目	建築施工Ⅱ	単　位	2
授業科目の目標	鉄筋コンクリート工事の施工法及び各種工事について習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 躯体工事	(1) 鉄筋工事 (2) 型枠工事 (3) コンクリート工事 (4) プレキャストコンクリート工事 (5) ALC工事	16 H
2. 仕上げ工事	(1) 防水工事 (2) タイル工事 (3) 石工事 (4) 屋根工事 (5) 左官工事 (6) 塗装工事 (7) ガラス工事 (8) 内装工事 (9) 金属工事	12 H
3. 付帯設備工事	(1) 各種設備工事	4 H
4. 解体工事	(1) 各種解体工事	4 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	住居環境科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	住環境計画		
授業科目	インテリア計画	単　　位	2
授業科目の目標	建築内外部の設計に必要な基本的知識として、人、物、空間の関わりと具体的空間づくりのための基礎知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. インテリア設計の手法	(1) インテリア設計の流れ (2) 設計与条件の整理 (3) インテリアスタイル (4) 生活行為とゾーニング	14 H
2. インテリアの人間工学	(1) 人体寸法 (2) 動作寸法 (3) 動作空間 (4) 対人距離 (5) 動作特性	8 H
3. インテリアエレメント	(1) 家具類 (2) 建具類 (3) 照明類 (4) 設備類 (5) その他のインテリアエレメント	14 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	視聴覚機器

令和元年10月改訂

授 業 科 目 カ リ キ ュ ラ ム 表

課程：専門課程

科　　名	住居環境科 建築科	教科の区分	専攻学科
教 科 の 科 目	建築構造力学		
授　業　科　目	構造力学Ⅱ	単　位	4
授業科目の目標	構造解析の基本となる力学の基礎理論を習得する。		

授業科目の細目	授　業　科　目　の　内　容	時　間
1. 断面の諸性質	(1) 断面積、断面の図心、断面一次モーメント (2) 断面二次モーメント (3) 断面係数	12 H
2. 応力度とひずみ度	(1) 応力度とひずみ度の関係 (2) 材料の力学的性質 (3) 部材の設計（断面算定）	12 H
3. 梁の変形	(1) 弾性曲線式 (2) モールの定理	12 H
4. 座屈	(1) オイラーの座屈荷重	4 H
5. 不静定構造物の応力解法１（たわみ角法）	(1) たわみ角法の基本式 (2) 部材の変形と材端応力の関係式（弾性条件式） (3) 節点方程式 (4) 不静定ラーメンの解析	20 H
6. 不静定構造物の応力解法２（固定モーメント法）	(1) 固定モーメント法の解法の原理 (2) 固定端モーメント・有効剛比 (3) 不静定ラーメンの解析	12 H
		合計 72 H

使用する機械器具等	関数電卓

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	住居環境科 建築科	教科の区分	専攻学科
教科の科目	建築構造設計（住居環境科） 建築構造　　（建築科）		
授業科目	構造設計Ⅰ	単　位	2
授業科目の目標	構造物に共通する構造設計方法について習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 構造設計の概要	(1) 構造設計の流れ (2) 各種基・規準の概要	4 H
2. 各種構造材料	(1) 各種構造材料の力学的性質 (2) 材料強度と許容応力度	4 H
3. 荷重・外力	(1) 長期荷重 (2) 短期荷重	4 H
4. 構造計画	(1) 構造計画の考え方 (2) 各種構造の特徴	4 H
5. 応力解析	(1) 構造物のモデル化 (2) 荷重・外力の算定 (3) 応力解析 (4) 応力解析演習	20 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	関数電卓、パソコン、構造解析ソフト

令和元年10月改訂

授 業 科 目 カ リ キ ュ ラ ム 表

課程：専門課程

科　　名	住居環境科 建築科	教科の区分	専攻学科
教 科 の 科 目	建築構造設計（住居環境科） 建築構造　　（建築科）		
授　業　科　目	構造設計Ⅱ	単　位	2
授業科目の目標	構造物の構造設計方法について習得する。		

授業科目の細目	授　業　科　目　の　内　容	時　間
1. 柱の設計	(1) 柱の断面算定式 (2) 柱の断面算定の手順とポイント (3) 柱の断面算定の演習	12 H
2. 梁の設計	(1) 梁の断面算定式 (2) 梁の断面算定の手順とポイント (3) 梁の断面算定の演習	12 H
3. 接合部の設計	(1) 接合部の設計方法 (2) 接合部の設計の手順とポイント (3) 接合部の設計の演習	12 H
		合計 36 H

使　用　す　る 機 械 器 具 等	関数電卓、パソコン、構造解析ソフト

令和元年10月改訂